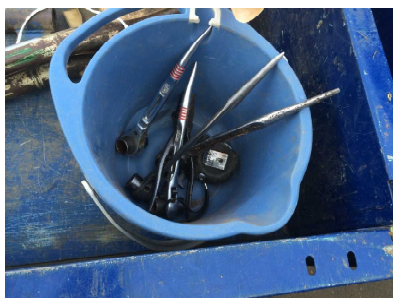


ジョイント仕立て

材料・資材① 準備



- ラチェット
- スパナ
- ペンチ
- メジャー(小)
- メジャー(大)
- 棒
- 水平器
- 剣スコップ
- 紐
- エクセル線(鉄心入太目)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B7%A5%E5%85%B7%E3%81%AE%E4%B8%80%E8%A6%A7>

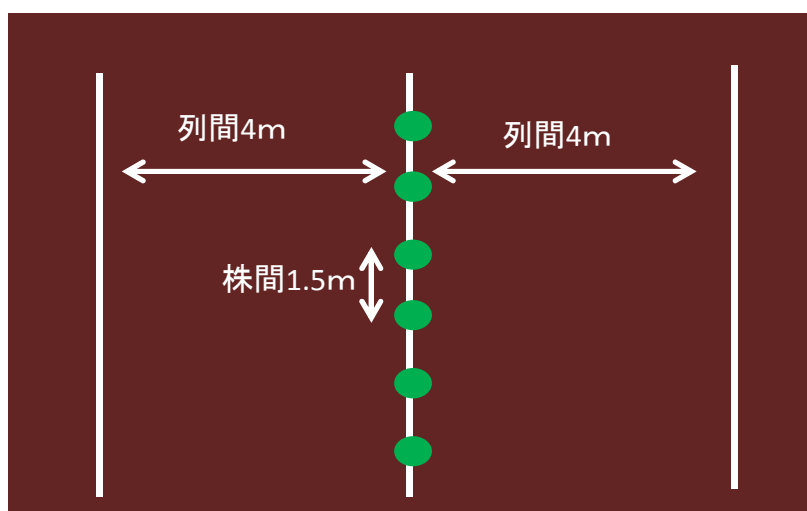
材料・資材② 準備



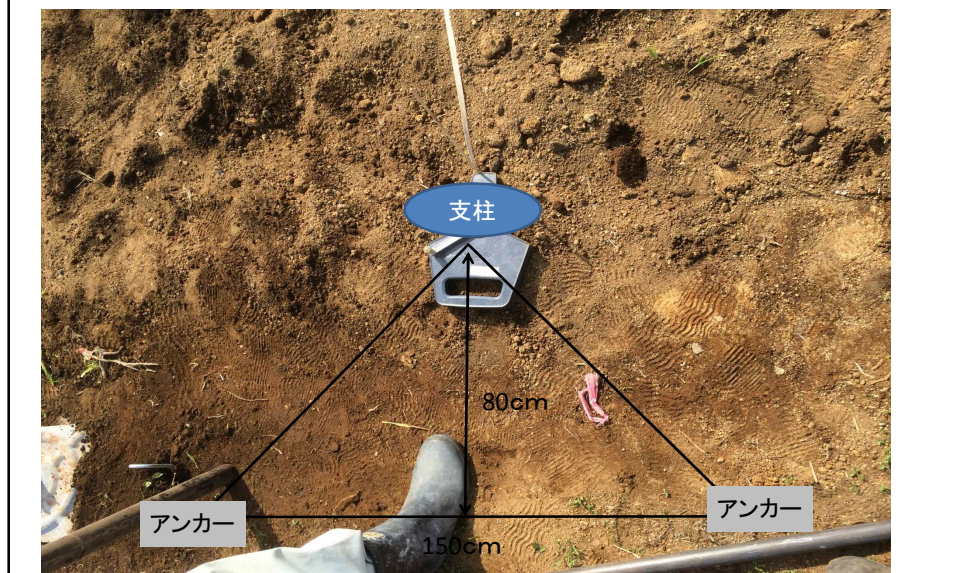
- 引留
- 自在クランプ(48.6)×6
- 単管パイプ(3m)×6
- 小型張線器×6
- 中柱爪付バンド×6
- アンカー×4
- アンカー打ち込み機材
- ベース×4

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B7%A5%E5%85%B7%E3%81%AE%E4%B8%80%E8%A6%A7>

植え付け距離の設定

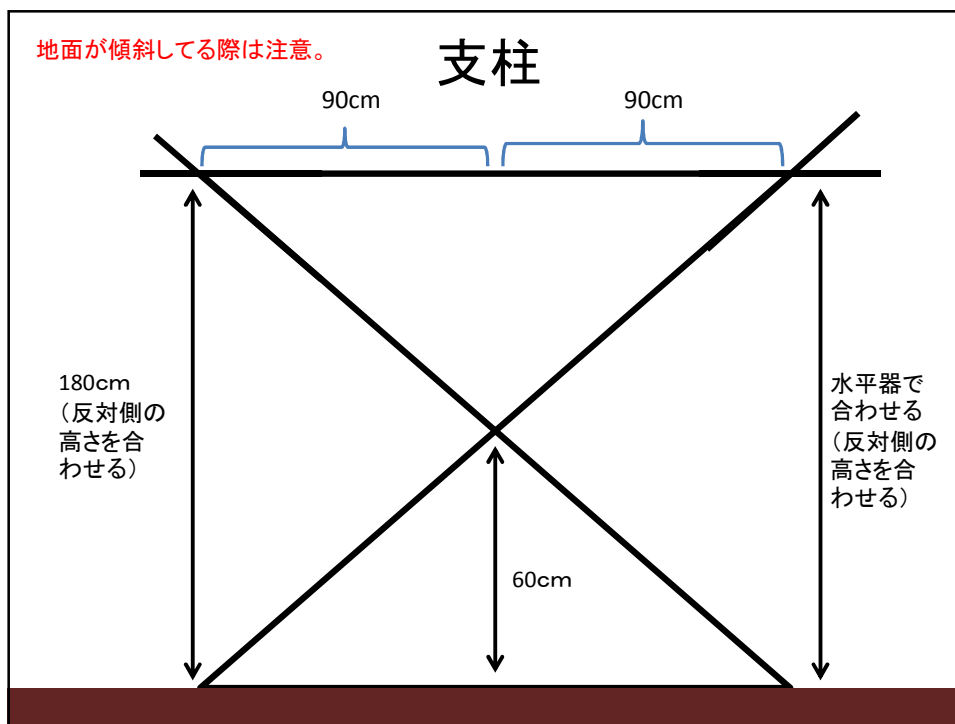


アンカー打ち込み位置



打ち込み後





完成
予想図

ベース



パイプを手前に少し倒れるようにする。
そのため、斜めにベースを配置する。

水平器



自在クランプ



横のパイプは交差するようにする。
クランプは、受けの方を下にして、支えるようにする。

アンカー引留



ピンとなるように引っ張る。
一度曲げると跡がつくので、一回で決める。
間違っただ際は、ペンチで直す。
引っ掛けは、やり直しを考慮して全ては繋げない。



引留を挟む形で、
バンドを付ける。

幹線



幹線を引くのは三か所。張線器の引っ掛け部分は上に配置する。

苗木の植え付け

- バーク堆肥を混和する。
- 定植したら、円を描くように土手を作り、灌水する。その際に、タキロンパイプなどで、土に穴をあけて水分を土に吸収しやすくさせる。



植え付け時の注意点

- 幹線に真っ直ぐに主幹を這わせるように植え付ける。無駄な木へ負担を減らす。
- ジョイントする苗木は、先端が良く伸びているのを使用する(継ぐ部分は新梢のみ)



苗木は水分が少ないと折れ易いため
管理に注意する。

